

平成16年中

# 救急の概要

- 1 救急業務
- 2 10年間の救急出場件数及び搬送人員状況
- 3 平成16年中救急出場件数及び搬送人員
- 4 事故種別年齢区分別搬送人員
- 5 事故種別傷病程度別搬送状況
- 6 急病にかかる疾病分類搬送人員
- 7 救急支援
- 8 応急処置実施件数
- 9 時間別出場件数
- 10 現場到着所要時間別出場件数
- 11 CPR対象者に対する応急手当実施数
- 12 応急手当普及啓発及び啓発活動の状況

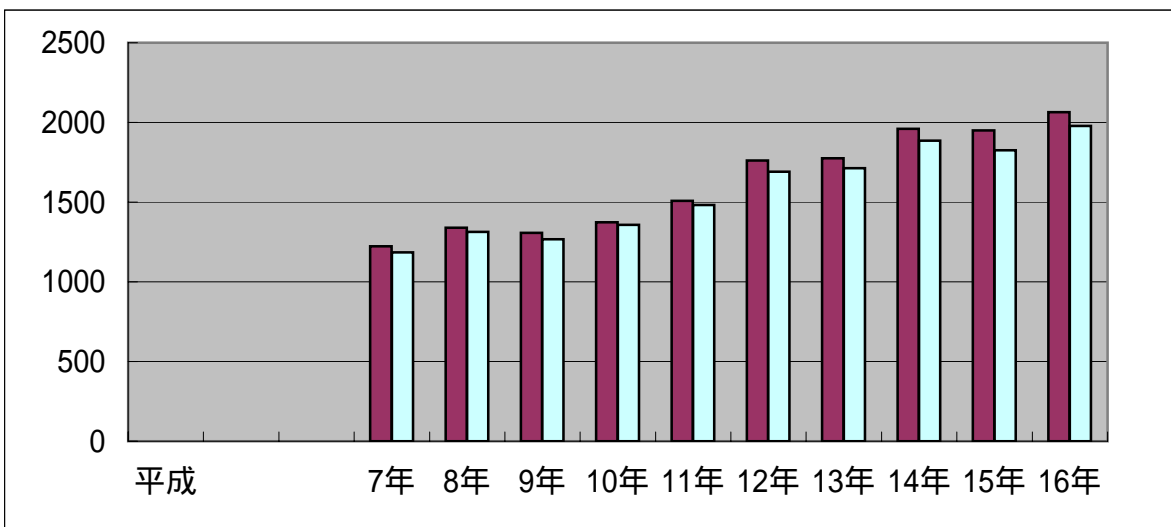
## 1 救急業務

蓮田市の平成16年中の救急出場件数は、2,065件(前年1,949件)、搬送人員にあっては1,978人(前年1,826人)であり、H7年の1,223件と比べ、842件の増加となっております。

このことは、市民の約35人1人が救急車を利用していることとなり、過去と比較しても、増加の一途をたどっており、市民の生命・身体を守る上で、なくてはならない行政サービスであると言えます。

今後、急速な高齢化社会の到来や、疾病の多様化により、出場件数がさらに増加することが予想されます。よって、救急業務をさらに充実強化していく為に、高規格救急自動車、救急資器材の整備、地域医療機関との連携強化、救急隊員の資質の向上、さらには応急手当の普及啓発を積極的に実施し、救命率の向上を推進する必要があります。

## 2 10年間の救急出場件数・搬送人員状況



出場件数 搬送人員

平成	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
件数	1,223	1,339	1,307	1,374	1,508	1,761	1,776	1,959	1,949	2,065
人員	1,185	1,313	1,267	1,358	1,482	1,691	1,713	1,885	1,826	1,978

3 平成16年中救急出場件数及び搬送人員

(上段は件数、下段は人員)

種別		救 急 事 故 種 別											合 計
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
月別													
1月	出 動 件 数	1			15	1		16		1	127	24	185
	搬 送 件 数	3			17	1		16		1	122	22	182
2月	出 動 件 数				34	2	1	22	2	1	104	14	180
	搬 送 件 数				35	2	1	20	2	1	93	13	167
3月	出 動 件 数				26	2	1	23	3	2	118	21	196
	搬 送 件 数				25	2	1	22	3	0	113	20	186
4月	出 動 件 数	2			40	3		16			89	20	170
	搬 送 件 数	2			47	3		16			79	19	166
5月	出 動 件 数	1		1	23	1		18	1	3	95	19	162
	搬 送 件 数	1		0	20	1		18	1	1	89	17	148
6月	出 動 件 数	1			31	3	1	12		4	81	15	148
	搬 送 件 数	0			32	3	1	12		4	79	15	146
7月	出 動 件 数				26	3	1	22	3	4	106	8	173
	搬 送 件 数				26	3	1	21	2	4	102	8	167
8月	出 動 件 数	1			28	1	1	13	2	3	101	19	169
	搬 送 件 数	0			28	1	0	13	1	3	87	19	152
9月	出 動 件 数				34	2	1	12	1	2	93	20	165
	搬 送 件 数				40	1	1	12	1	0	89	18	162
10月	出 動 件 数				19	3	4	17	1	2	111	17	174
	搬 送 件 数				21	3	4	16	0	2	107	17	170
11月	出 動 件 数	2			40		2	25		2	106	11	188
	搬 送 件 数	1			50		2	20		1	100	11	185
12月	出 動 件 数				36	1		25		3	84	6	155
	搬 送 件 数				37	1		21		3	81	4	147
合計	出 動 件 数	8		1	352	22	12	221	13	27	####	194	2,065
	搬 送 件 数	7		0	378	21	11	207	10	20	####	183	1,978

#### 4 事故種別年齢区分別搬送人員

事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
年齢区分													
新生児	児											18	18
乳幼児	児				18			37			82	2	139
少年	年	2			46		3	13	1		33	2	100
成人	人	3			265	20	8	53	9	18	483	76	935
老人	人	2			49	1		104		2	543	85	786
計		7			378	21	11	207	10	20	1,141	183	1,978

年齢区分は次のとおり分類する

- ・新生児 生後28日未満の者
- ・乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- ・少年 満7歳以上満18歳未満の者
- ・成人 満18歳以上65歳未満の者
- ・老人 満65歳以上の者

#### 5 事故種別傷病程度別搬送状況

事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
年齢区分													
死亡	亡				1						26	2	29
重症	症	1			8	5		11		2	132	49	208
中等症	症	3			61	6	3	61	3	10	555	119	821
軽症	症	3			308	10	8	135	7	8	428	13	920
計		7			378	21	11	207	10	20	1,141	183	1,978

## 6 急病にかかる疾病分類搬送人員

事故種別 傷病者程度	循環系		消 化 系	呼 吸 系	精 紳 系	感 覚 系	泌 尿 系	新 生 物	そ の 他	不 明 確	合 計
	脳 疾 患	心 疾 患									
死 亡	2	10		1						13	26
重 症	43	15	11	18	2	4	1	11	2	25	132
中 等 症	59	39	55	45	21	14	20	12	51	239	555
軽 症	20	14	25	24	40	15	20	2	35	233	428
合 計	124	78	91	88	63	33	41	25	88	510	####

## 7 救急支援

事故種別	急病	交通	一般	自損	労災	加害	その他	合計
出場件数	253	122	18	10	3	4	3	413

救急支援とは、救急現場の状況に応じて、消防車や救助工作車が同時に出場して、救急活動の支援を行うものです。

支援の内容では、幹線道路の交通事故や、駅・サービスエリア等の人通りの多い場所、住宅等の建物において搬出困難な場合や、意識の無い傷病者など様々な事例で支援活動しています。

救急支援により、救急隊の安全な現場活動が可能となり、又マンパワーの増員により現場の滞在時間が短縮するなど、必要性は今後ますます高まっていくと思われます。

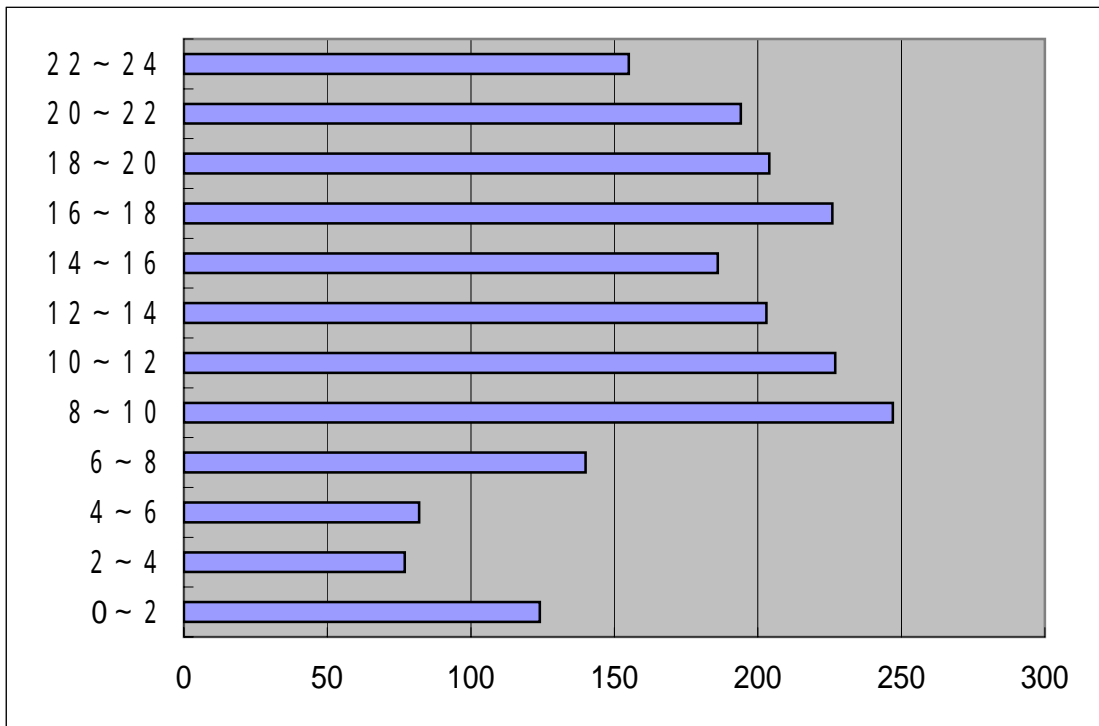
8 応急処置実施件数

処置等		平成16年中	備考	
応急処置	止血	76		
	固定	300		
	人工呼吸	16		
	心肺蘇生	35		
	酸素吸入	552		
	気道確保	用手	81	
		経鼻エアウェイ	7	
		異物除去	7	喉頭鏡、鉗子等、吸引等
	保温	1,439		
	被覆	146		
	在宅医療継続	7		
	その他の応急処置	1,150		
	血圧測定	1,801		
	聴診器による聴取	901		
	血中酸素飽和度の測定	1,903		
	心電図	641		
合計	9,062			

9 時間別出場件数

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	
											転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他		
合計	8		1	352	22	12	221	13	27	####	185			9	2,065	
時間別内訳	0～2			17			4		3	92	6			2	124	
	2～4	1		7			5	1	2	58	2			1	77	
	4～6			5			2	3		70	1			1	82	
	6～8			37			9		1	87	6				140	
	8～10	1		51	5		25	1	1	138	25				247	
	10～12	1		42	4	4	31		1	110	34				227	
	12～14	1		39	3	1	20		2	103	33			1	203	
	14～16			26	6	2	30			96	25			1	186	
	16～18	2		1	55	1	3	31	3	5	99	26			226	
	18～20	1			30	2		22		3	131	13			2	204
	20～22				26		2	29	4	6	120	7				194
	22～24	1			17	1		13	1	3	111	7			1	155

時間帯



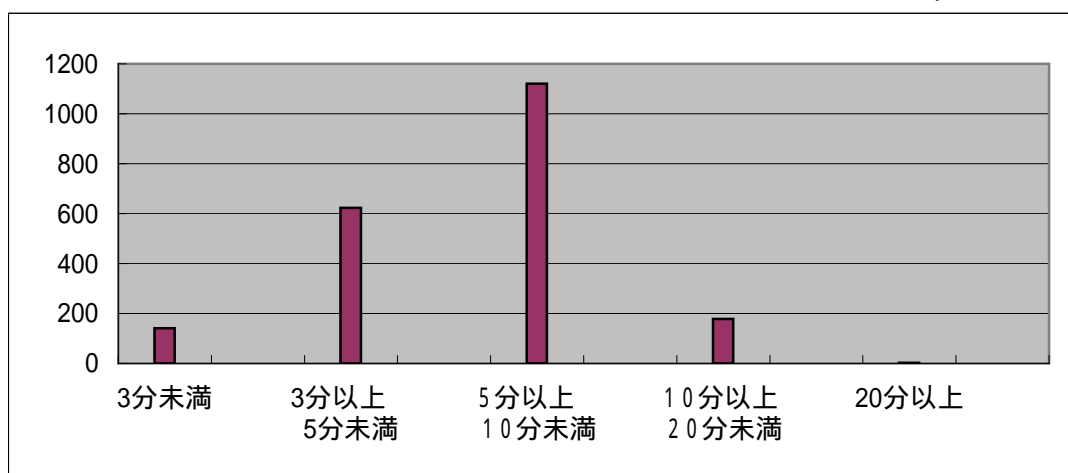
件数

## 10 現場到着所要時間別出場件数

区分	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急病	75	351	676	112	1	1,215
交通	41	127	154	30	0	352
一般負傷	18	75	116	10	2	221
その他	7	70	174	26	0	277
計	141	623	1,120	178	3	2,065

件数

現場到着平均時間 = 5,37分



## 11 CPR対象者に対する応急手当実施数

(平成16年中)

区分	CPR対象者					合計
	急病	交通	一般	自損行	転院	
応急手当有	11	0	1	1	0	13
応急手当無	18	1	1	0	2	22
合計	29	1	2	1	2	35
実施率(%)						37,14%



## 12 応急手当普及啓発活動の状況

区分	普通救命講習		その他の講習	
	受講人員	実施回数	受講人員	実施回数
平成14年	372	16	636	29
平成15年	423	18	345	13
平成16年	564	20	476	18

臨床的な心停止に陥った場合、脳は約3～4分間の血流停止によって、重大な障害を受けます。蓮田市内では、救急車の現場到着時間は、平均5,37分(表10参照)です。救急隊が到着するまでの間に、現場に居合わせた人が心肺蘇生法を実施し、救急隊へ引き継ぎ、救急隊が適切な処置をして病院へ搬送する。すなわち早い通報、早い応急手当(心肺蘇生等)、早い救急処置、早い医療処置の救命の連鎖が、脳に障害を残さない為にも極めて重要となってきます。

平成16年中に行った応急手当普及講習は、受講者が1,040人で、ここ数年の中で最も多い受講者数となっています。

又、CPR対象者に対する応急手当実施数は、35人中13人で、実施率37,14%(表11参照)となっています。このことは、119番入電時における指令員の口頭指導や、応急手当普及啓発の成果が出て来ていると考えられますが、100%に近づける為に今後、更なる応急手当普及啓発を図る必要があります。

平成16年7月より、一般住民でも、所定の条件を満たしていれば、自動体外式除細動器(AED)を使用することが可能となりました。今後、所定の条件を満たした住民が増加し、AEDがもっと身近に普及し、救急隊が到着する前にAEDによる除細動が実施されるようになれば、救命率は今までより、さらに高まる可能性があると思われます。

## 消防相互応援協定

この協定は、消防組織法第21条の規定に基づき、市・町消防本部及び組合消防本部と相互の消防力を活用して災害による被害を最小限に防止することを目的とする。

市・町・組合	協定締結年月日	協定内容（災害種別）
久喜地区・白岡町	昭和51年4月1日	久喜地区消防組合・蓮田市・白岡町消防救急相互応援協定（救急）
久喜地区	昭和54年7月21日	久喜地区消防組合・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
白岡町	昭和54年8月1日	白岡町・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
上尾市	昭和54年8月25日	上尾市・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
伊奈町	昭和54年8月28日	伊奈町・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
埼玉県央広域	平成8年8月1日	埼玉県央広域・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
さいたま市	平成13年12月1日	さいたま市・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
埼玉県下の市町村、消防の一部事務組合及び消防を含む一部事務組合	昭和60年4月1日	埼玉県下消防相互応援協定
川口市・さいたま市 白岡町・羽生市 久喜地区・加須地区 群馬県館林地区消防組合	平成4年3月12日	東北高速道路管内市町・組合（火災・救急）間の消防相互応援協定

## 消防自動車配置状況（消防本部・署）

平成17年4月1日現在

配置	種別	車名	型式	ポンプ会社名	ポンプ 級別・型式	購入 年月日	備考
消防本部	指令車	トヨタ	R-ET196V			H8.5	寄贈車 贈 セイコーアドバンス
	広報指導車	ホンダ	E-RF1			H11.3	
	連絡車	トヨタ	E-SV40			H7.4	
	連絡車	スズキ	E-HA11S			H9.3	
	連絡車	スズキ	LA-MC22S			H13.4	寄贈車 贈 セイコーアドバンス
消防署	消防車	イズズ	KC-NKR71 GN	(株)モリタ	A - 2級 CD - 型	H9.3	
	速消車	ヒノ	U-FD3HEAA	(株)篠崎ポンプ機械製作所	A - 1級 - A型	H4.7	寄贈車 水槽 1500L 贈 日本損害保険協会
	化学車	イズズ	P-FSR12FAV 改	(株)モリタ	A - 2級 型	S63.12	水槽 1500L 薬液 500L
	救助工作車	ヒノ	KC-GD1JGBA		型	H8.2	
	救急車	ニッサン	E-ALE50 改		高規格	H11.2	
	救急車	ニッサン	E-FEGE24			H7.3	
	資機材搬送車	マツダ	GE-SYE6T			H14.1	
南分署	広報指導車	トヨタ	R-ET196V			H8.5	寄贈車 贈 セイコーアドバンス
	消防車	ヒノ	KK-XZU331M	(株)モリタ	A - 2級 CD - 型	H15.3	
	速消車	ヒノ	KK-FD1JEEA 改	(株)モリタ	A - 2級 - A型	H15.11	水槽 1500L
	救急車	トヨタ	TC-VCH32S		高規格	H16.2	

## 消防無線一覧表

局 所	所属	呼出名称	配置及び積載車	出力 (W)	メーカー・型式		
基地局	消防本部	しょうぼうはすだ	通信室	5	沖電気・VM3050		
		しょうぼうはすだ	通信室	5	沖電気・VM1055		
移動局 ・ 携帯局	消防本部	はすだしれい1	指令車	10	沖電気・VM1125MT		
		はすだしれい2	広報指導車	10	沖電気・VM1135T		
		はすだ101	指令車	10	沖電気・VM1135T		
		はすだ1	速消車	10	沖電気・VM1107T		
		はすだ2	消防車	10	沖電気・VM1125MT		
	消防署	はすだかがく1	化学車	10	沖電気・VM1107T		
		はすだきゅうじょ1	救助工作車	10	沖電気・VM1125MT		
		きゅうきゅう はすだ1	救急車	10	沖電気・VM1125MT		
		きゅうきゅう はすだ2	救急車	10	沖電気・VM1135T		
		はすだきざい1	資機材搬送車	10	沖電気・VM1135T		
		はすだ102	救急車	1	沖電気・VM1130T		
		はすだ103	化学車	5	沖電気・VM1130T		
		はすだ104	消防車	5	沖電気・VM1138T		
		はすだ105	速消車	5	沖電気・VM1130T		
		はすだ108	救急車	5	沖電気・VM1138T		
		はすだ109	救助工作車	5	沖電気・VM1138T		
		はすだ110	救助工作車	5	沖電気・VM1138T		
		移動局 ・ 携帯局	南 分 署	はすだみなみ1	広報指導車	10	沖電気・VM1125MT
				はすだみなみ2	速消車	10	沖電気・VM1135T
				はすだみなみ3	消防車	10	沖電気・VM1135T
きゅうきゅう はすだ3	救急車			10	沖電気・VM1135T		
はすだ106	速消車			5	沖電気・VM1138T		
はすだ107	消防車			5	沖電気・VM1138T		
はすだ111	救急車			5	沖電気・VM1138T		

周波数 市町村波 150.75MHZ  
 県 波 148.29MHZ

## 消防水利設置状況

消防水利には、消火栓、防火水槽、プールなどの人工水利と、河川、池、海などの自然水利に区別できますが、当市ではその大部分を人工水利で占めています。消火栓は連続的に給水され、かつ、簡便に使用できる反面、配管口径による給水量の制約、断・減水時の取水不能、さらに地震時には配管の破損が懸念されるなどの弱点もあわせもっています。こうした消火栓の持つ弱点をカバーするためにも、防火水槽などを地域の実情に応じて計画的に整備を図っております。

平成17年4月1日

種別	消火栓	防火水槽					その他		
		100m <sup>3</sup> 以上	60m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上 60m <sup>3</sup> 未満	20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満	20m <sup>3</sup> 未満	プール	河川溝等	その他
公設	633		2 (2)	64 (16)	10 (1)	1	13	1	
私設			1 (1)	55 (25)	15 (3)	1	1		6
計	633		3 (3)	119 (41)	25 (4)	2	14	1	6

(注) 1 ( ) は耐震性防火水槽

2 その他の分類(最沈層・受水層・蓄熱層・排水層)

## ブロック別消火栓配管口径別設置数

平成17年4月1日

種別 ブロック	配管口径内訳 (mm)									合計
	500	400	350	250	200	150	125	100	75	
2							5	10	7	22
3					2	23		7	24	56
4								2	1	3
5				4	6	30	2	7	16	65
6				6	2	10		14	18	50
7										
8	2	2	4	10	25	25	1	14	32	115
9				1	4	16		6	19	46
10A	1		4	9	6	10	3	21	29	83
10B		1		5	8	39	1	41	35	130
11						14	1	9	10	34
12				1	2	9		7	10	29
合計	3	3	8	36	55	176	13	138	201	633

# 訓練及び広報活動等状況

平成16年度

## 消防訓練

	延べ訓練回数	74 回
	延べ訓練参加人数	6799 人
消火訓練	訓練回数	45 回
	参加人数	5311 人
避難訓練	訓練回数	58 回
	参加人数	6181 人
通報訓練	訓練回数	45 回
	参加人数	
地震・煙体験など その他の訓練	訓練回数	12 回
	参加人数	1056 人

\* 消防本部に届出のあったものです。

\* 市内の自主防災組織、自治会で届出のあったものを含みます。

## 広報活動

種 別	対 象	件 数
消防車による巡回 広報活動	市 内 全 域	58回
		延べ70時間10分
ポスター、チラシ等の 配布	各 事 業 所	10種類
		2275枚
火災予防啓蒙活動	一 般	まつり 2回
		火災予防PR 2回

## 住宅防火

種 別	対 象	件 数
住宅防火PR	独居・老夫婦世帯	13回
		79世帯
住宅防火診断	高齢者	4ヶ所
		62人

## 防火管理者資格取得講習会(甲種)

講習回数	受講者数	修了者数
2回	40名	40名

防火対象物調 (延べ面積 150㎡以上)

平成 16年度

用 途		対 象 物 数	地 上 5 階 以 上
1	イ	劇 場、映画館、演芸場、観覧場	
	ロ	公 会 堂、集 会 場	19
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場、ダンスホール	7
	ハ	風俗営業等	
3	イ	待 合、料理店等	4
	ロ	飲 食 店	29
4	百貨店、店 舗、マーケット等		73
5	イ	旅 館、ホテル、宿泊所	5
	ロ	寄 宿 舎、下 宿、共同住宅	585
6	イ	病 院、診療所、助産所	40
	ロ	福 祉及び厚生施設等	20
	ハ	幼稚園、養護学校等	12
7	小、中、高等学校、各種学校		53
8	図書館、博物館、美術館		2
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	
10	車 両 の 停 車 場 等		2
11	神 社、寺 院、教 会		13
12	イ	工 場、作業場	185
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫、駐車場	13
	ロ	飛行機の格納庫	
14	倉 庫		101
15	前各項に該当しない事業場		120
16	イ	特定対象物の複合用途建物	120
	ロ	イ以外の複合用途建物	50
合 計		1,453	36

## 消 防 法 及 び 火 災 予 防 条 例 等 に 基 づ く 届 出 件 数

平成16年度

項 目	件 数
防火対象物使用開始届出	47
消防用設備等着工届出	45
消防用設備等設置届出	135
消防用設備等点検報告	205
防火管理者選(解)任	61
消防計画作成(変更含む)届出	57
防火対象物定期点検結果報告	11
防火対象物点検報告特例認定申請	1
消防用設備等の特例基準適用申請	1
火災とまぎらわしい届出	22
煙 火 打 ち 上 げ	3
発 電 設 備	5
変 電 設 備	12
炉・ボイラー設備設置届出	1
ヒートポンプ設備設置届出	1
禁止行為の解除承認申請	1
消防訓練実施計画(結果)届出書	70

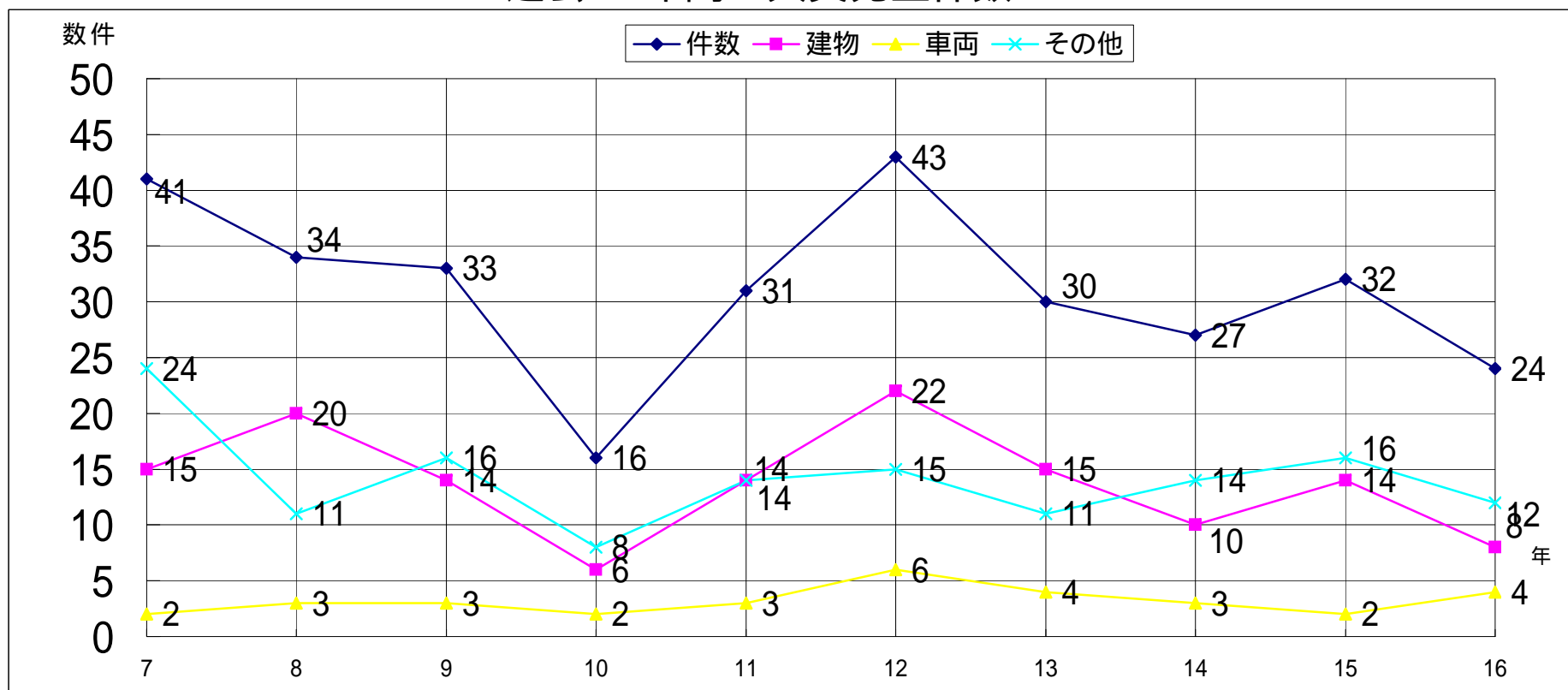
## 消 防 法 に 基 づ く 消 防 同 意 事 務 件 数

平成16年度

建 築 確 認 申 請	74			
消 防 同 意	74			
消防同意内訳		指 導 有 り	指 導 無 し	合 計
	新 築	31	25	56
	増 築	11	7	18
	改 築			
	移 転			
	修 繕			
	模 様 替 え 用 途 変 更			



## 過去10年間の火災発生件数



年別	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
件数	41	34	33	16	31	43	30	27	32	24
建物	15	20	14	6	14	22	15	10	14	8
車両	2	3	3	2	3	6	4	3	2	4
その他	24	11	16	8	14	15	11	14	16	12
損害額 (千円)	158,925	65,958	40,399	115,647	22,604	59,350	149,807	6,131	52,457	29,664

# 平成16年中の蓮田市火災概況

蓮 田 市 消 防 本 部

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災発生件数		1	2	1	6	1	4	2		2		3	2	24
種 別	建物火災	1			3		1	1				2		8
	車両火災				2		2							4
	その他火災		2	1	1	1	1	1		2		1	2	12
原 因 別	ガスコンロ	1			2		1							4
	ごみ等焼却中に延焼		1		1								1	3
	焼却炉の飛び火						1	1						2
	廃車解体中の火花									2				2
	子供の火遊び												1	1
	放火(疑い含む)											1		1
	その他							1						1
	不明		1	1	3	1	2						2	10
負傷者		3			2							1		6
死者						1						1		2
焼損表面積 ( m <sup>2</sup> )		1.8			1.7									3.5
焼損床面積 ( m <sup>2</sup> )		1741.54			259.40							89.82		2090.76
焼損棟数		6			6		1	1				2		16
火元 焼損 区分	全焼	1			2							1		4
	半焼											1		1
	部分焼													0
	ぼや				1		1	1						3
延焼による棟数		5			3									8
罹災世帯		4			2		1					2		9
罹災人員		10			9		4					3		26
損害額	建物(千円)	9,542			7,962		42					5,308		22,854
	内容物(千円)	407			3,023		6	48				1,333		4,817
	その他(千円)	150			1,472		371							1,993
	合計(千円)	10,099			12,457		419	48				6,641		29,664

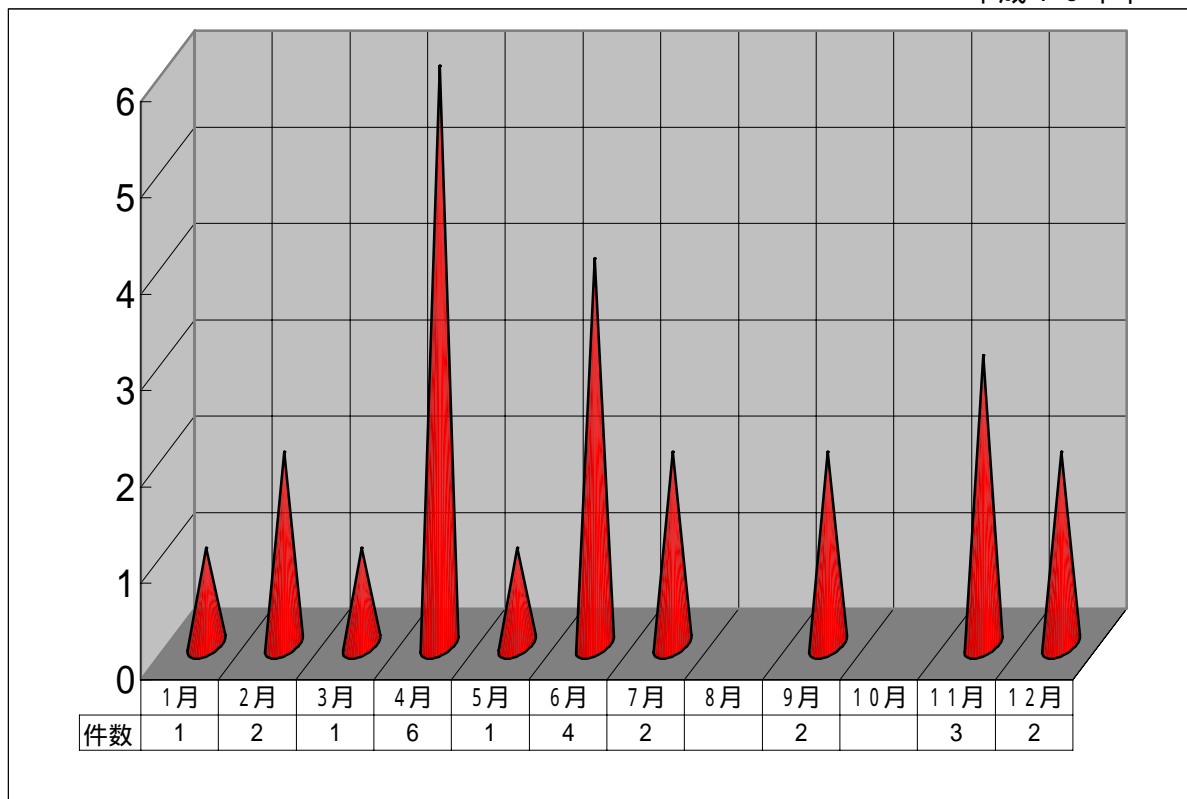
平成13年中の火災件数 30件 損害額 149,807 千円

平成14年中の火災件数 27件 損害額 6,131 千円

平成15年中の火災件数 32件 損害額 52,457 千円

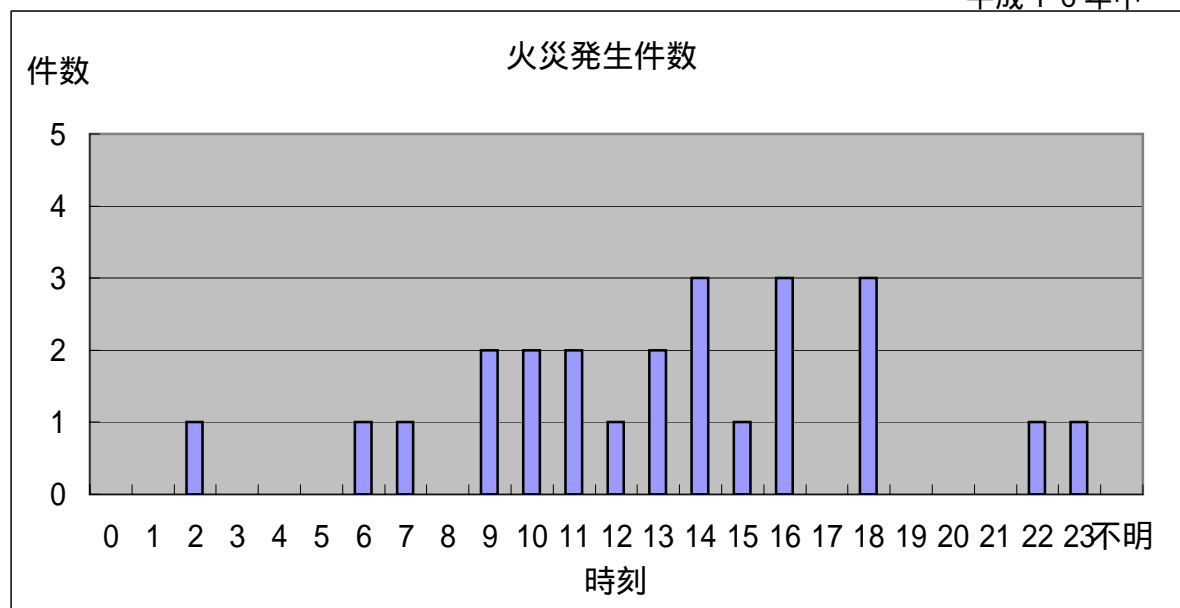
# 月別火災発生件数

平成16年中



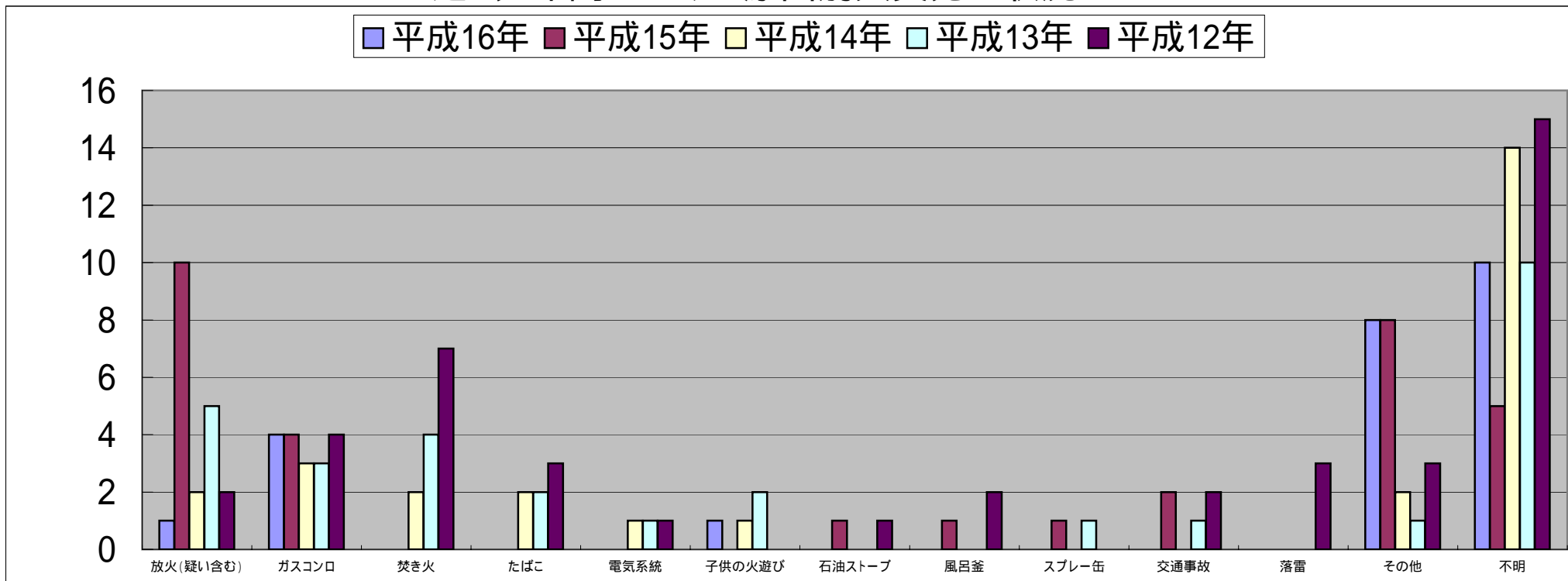
# 時間別火災発生件数

平成16年中



時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明
件数			1				1	1		2	2	2	1	2	3	1	3		3				1	1	

## 過去5年間における原因別火災発生状況



原因別 過去5年間	放火(疑い含む)	ガスコンロ	焚き火	たばこ	電気系統	子供の火遊び	石油ストーブ	風呂釜	スプレー缶	交通事故	落雷	その他	不明
平成16年	1	4				1						8	10
平成15年	10	4					1	1	1	2		8	5
平成14年	2	3	2	2	1	1						2	14
平成13年	5	3	4	2	1	2			1	1		1	10
平成12年	2	4	7	3	1		1	2		2	3	3	15
合計	20	18	13	7	3	4	2	3	2	5	3	22	54

## 危険物類別施設数及び事務処理状況

平成16年度

区 分  製造所等 の区分		施 設 数						処 理 状 況 ( 交 付 )			
		第 一 類	第 二 類	第 三 類	第 四 類	第 五 類	第 六 類	許 可		完 成 検 査	
								設 置	変 更	設 置	変 更
製 造 所					4				4		4
貯 蔵 所	屋内貯蔵所				2 1				1		1
	屋外貯蔵所				5			3		3	
	屋内タンク 貯 蔵 所				1						
	屋外タンク 貯 蔵 所				3 3				1		1
	地下タンク 貯 蔵 所				3 2			2		1	
	移動タンク 貯 蔵 所				1 2				4		4
取 扱 所	給油取扱所				2 4				1		2
	一般取扱所				2 4			2	2	2	2
合 計					1 5 6			7	1 3	6	1 4



## 消防団

現在蓮田市消防団は、市内在住及び在勤の郷土愛溢れる 141 名によって 1 本部 6 ヶ分団で構成されています。消防団員は消防職員と異なり、消防以外に仕事を有しているため、火災発生の際には自分の仕事を中断して現場に出動しますし、夜間の就寝中でもサイレンの音で飛び起き、火災現場に駆け付け、消防職員と協力して消火作業に従事します。

消防団員は、皆さんの生命・財産を火災から保護することだけではなく台風や集中豪雨などの風水害や地震等にも出動し、これらの災害による被害の軽減に努めています。

また、災害のないときも、火災予防活動や機械器具の点検・消火栓等の調査などを実施し災害に備え万全を期しています。

### 消防団の主な行事（平成 16 年度）

平成 16 年	4 月	辞令交付式・第 1 回分団長会議 団幹部歓送迎会
	5 月	新入・未講習者団員講習
	6 月	第 1 回本部役員会議 第 2 回分団長会議
	7 月	消防団幹部県外研修 非常招集訓練（椿山地内）
	8 月	消防団員健康診断 第 3 回分団長会議
	9 月	救命講習会
	10 月	第 2 回本部役員会議 第 4 回分団長会議 埼玉国体（警備 24 日から 28 日）
	11 月	消防特別点検
	12 月	第 5 回分団長会議 歳末特別警戒
	平成 17 年	1 月
2 月		消防団基礎教育
3 月		消防団家族慰安会 消防団中級幹部研修（1泊2日） 第 6 回分団長会議

## 消防団構成

平成 17 年 4 月 1 日

分団名	条例数	実員数
団本部	4	4
第 1 分団	22	23
第 2 分団	33	22
第 3 分団	24	24
第 4 分団	24	22
第 5 分団	22	21
第 6 分団	28	25
合計	157	141

## 分団詰所所在地

分団名	所在地	建築延べ面積(㎡)	敷地面積(㎡)
第 1 分団	東 5 丁目 7 2	102.06	393.38
第 2 分団	上 2 丁目 13 2	102.06	340.01
第 3 分団	閩戸 3978 8	102.06	395.67
第 4 分団	上平野 606 3	66.6	92.56
第 5 分団	黒浜 3834 2	66.6	114.3
第 6 分団	黒浜 1132 3	52.65	99

## 在職年数別消防団員数

平成 17 年 4 月 1 日

在職年数 分団別	在職年数							
	計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
本部	4				1		3	
第1分団	23	7	4	5	5		2	
第2分団	22	2	8	6	5	1		
第3分団	24	10	9	4	1			
第4分団	22	7	4	9	2			
第5分団	21	6	2	5	5	3		
第6分団	25	5	6	8	4	2		
合計	141	37	33	37	23	6	5	



消防自動車配置状況 (消防団)

平成17年4月1日現在

分団名	車名・型式	ポンプ 会社名	ポンプ級別 型式	購入年月日
第1分団	いすゞ PB-NKR81N	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-型	H17.3
第2分団	いすゞ KC-NKR71GN	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-型	H10.10
第3分団	いすゞ U-NKR58E2N改	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-型	H4.12
第4分団	いすゞ KK-NKR71GN	ジーエムいち はら工業(株)	A-2級 ----- CD-型	H12.3
第5分団	いすゞ KK-NKR71GN	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-型	H14.2
第6分団	いすゞ U-NKR58E2N改	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-型	H4.3